

経営者に聞く



大同情報技術株式会社

1961年創業。測量を基幹技術に、地図情報の作成やコンサルティングなど幅広い業務を手がけ、業界ではいち早く、これらの電子化に対応。昨年より、情報資産における漏洩などのリスク対策として「情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)」と、事故や災害時に迅速に事業を継続、再開するための「事業継続マネジメントシステム (BCMS)」を導入し、顧客の信頼向上に努めている。

大同情報技術株式会社 代表取締役 尼野邦貞 氏

仕事の本質的な喜びを実感しながら働く

当社は主に官公庁の業務を手がけている点で非常に公共性の高い情報資産を取り扱っていることから、これらの適切な管理の重要性を認識し、ISMSの導入を開始しました。BCMSは、災害時に当社の技術を活かしていち早く地域貢献を行うことで、日ごろ公共事業で係わることの多い地域に恩返しをしたいという思いから取り入れました。また、これらの導入は、企業価値の向上と、ひいては社員の労働環境の向上を目指すものでもあり、同様の観点から、雇用環境改善モデル企業として都の推薦を受け、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

売り上げ、経費などは常にガラス張りにして、社員一人ひとりに、いま何をすべきかを考えさせます。月1回の戦略会議も、社長のトップダウンでなく、全員参加が基本。ISMSやBCMSの導入も、この会議から発案されたもので、こうした新しいものへの挑戦が、会社の気運を高める牽引役になればと思っています。

測量は、言うなれば泥臭い仕事ですが、昔の測量士たちは皆、自分の仕事にプライドや喜びを持ってやっていました。企業ですから商人としての目線も必要ですが、自分たちの仕事は社会の役に立っているという、仕事の本質的な喜びを実感しながら働くことが、とても大切だと思うのです。

杉並支部の
事業より

第1回 花と緑の井草祭り



開会式で挨拶する市川運営委員長。



当選券を手に賞品の花との交換を待つ人々たち。

東京商工会議所杉並支部は、10月24日(土)荻窪園芸地方卸売市場において、「第1回花と緑の井草祭り」を開催しました。園芸に関する講演会、花や野菜の即売会、抽選による花のプレゼント等を実施し、約2,000名の地域の方が来場しました。今年度から3年間にわたって、地域の関係者(町会・商店街・事業所・学校・区等)の協力を得ながら、委員会方式で「井草地域活性化推進事業(花と緑のガーデンタウン井草)」を展開していきます。

東京商工会議所入会のご案内

～会員として東京商工会議所にご加入いただくと、様々なメリットがございます!～

経営支援活動

経営の改善と新たな成長に向けて取り組む企業の挑戦を力強くバックアップします。

資金のご案内

★**経営改善資金(マル経融資)**: マル経融資(小規模事業者経営改善資金)は小規模事業者の方々の経営をバックアップするために無担保・無保証人で商工会議所の推薦にもとづき融資される国(日本政策金融公庫)の融資制度です。

★**東京商工会議所メンバーズビジネスローン**: 東京商工会議所と協力金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の提携により、通常より優遇された条件で融資が受けられる東商会員ならではのメリットです。

経営のご相談

専門家が無料でご相談にお応えします。

★**法律相談・税務相談**: 経営上、お困りの方はお気軽にご相談ください。弁護士・税理士がお答えいたします。

★**エキスパートバンク**: 小規模事業者の皆さまからのご要望に応じて、東京商工会議所に登録されたエキスパート(専門家)を直接事業所に派遣し、具体的・実践的なアドバイスによって問題の解決に役立てていただくものです。

政策提言・要望活動

経営環境の改善と活力のある経済社会の実現に向けて会員企業の皆さまの声を政治・行政に反映させます。

地域振興活動

産業振興・地域活性化に向けて会員企業の皆さまと地域社会の取り組みを推進いたします。

【杉並支部】今後の事業予定

【新春賀詞交歓会】

2010年1月19日(火)

会場: 吉祥寺第一ホテル

(武蔵野市吉祥寺本町2-4-14)

会費: 10,000円

16:00～17:30

【特別講演会】国際政治学者 浅井信雄氏

17:30～19:30

【式典・懇親会】

【会員交流ボウリング大会】

参加者大募集!!

2010年2月5日(金) 18:30～20:30

会場: 荻窪ユアボウル

(杉並区上荻1-16-16)

3名1チームでお申込みください。

詳細は左記宛お問い合わせください。

お問い合わせ: 東京商工会議所 杉並支部 ☎03-3220-1211

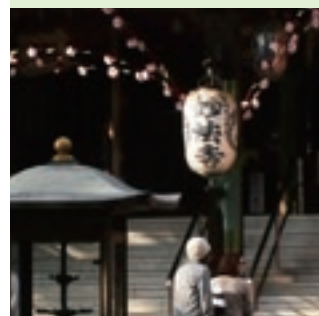
杉並支部レター

THE OBJECTIVES OF TCCI, WITH BRANCHES ESTABLISHED IN EACH OF THE 23 WARDS OF TOKYO, ARE TO FOSTER THE OVERALL IMPROVEMENT AND DEVELOPMENT OF COMMERCE AND INDUSTRY AND TO CONTRIBUTE TO THE WELFARE OF THE COMMUNITY.

NO. 9

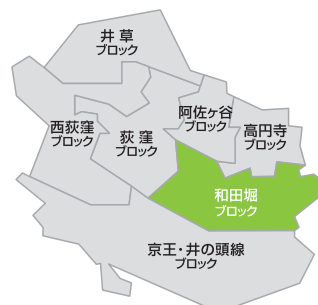


表紙写真：堀之内妙法寺



【妙法寺】妙法寺は「やくよけ祖師」と呼ばれ、江戸時代から霊驗あらたかなことで信仰を集めていました。「堀之内」という地名が妙法寺の異称となるほどで、その繁栄ぶりは、「浅草観音にならべり」と武蔵名勝図絵(1821年)に記されています。『新宿へ 泊まるには 妙法寺』と当時の川柳に詠まれているように、また、堀之内詣でを口実に新宿に遊びに行く人も多かったらしく、洒落本「甲斐新話」のほか、古典落語「縮みあがり」は、妙法寺の御会式の帰りに新宿に立ち寄った人々の珍談です。(杉並区郷土博物館所蔵資料より抜粋)

SUGINAMI AREA MAP



和 田堀ブロック

地域の活性化は商店街から

方南銀座商店街

東京メトロ方南町駅周辺の4つの商店街からなる、方南銀座商店街振興組合。1966(昭和41)年の設立以来、方南通り側にはアーケードを作り、まち全体には街路灯やカラー舗装を整備するなど、明るく安全で便利な商店街を目指し運営されてきました。理事長の新井清市さんにお話を伺いました。

3月の「わくわくまつり」、8月の「杉並方南歌謡祭&みんなで踊ろうエイサー」の様子。



「杉並方南歌謡祭&みんなで踊ろうエイサー」の様子。

「わくわくカード」、そして12月の「歳末売り出しと大抽選会」、この3つのイベントを柱に、町会や地域の学校と連携しながら活動しています。また、運営には比較的早くからパソコンを導入し、印刷物の作成やホームページでの情報公開に利用するなど、運営の合理化に役立っています。

現在、特に力を入れているのが「わくわくカード」によるポイント

制度の普及。100円の買い物で1ポイントがつき、たまったポイントは金券として使えます。この制度は、わくわくカード加盟店のみで使え、加盟店は全180商店会員中、60店ほど。毎月、ポイント還元率の良さが好評の「わくわくカード交換会」を催すほか、歳末の売り出しはポイント加盟店のみを参加対象にするなどして、加盟店、利用客双方の増強に努めています。

中野・渋谷・世田谷の3区に隣接

し、新宿にも近いという好立地から、空き店舗はほとんどないそう。交通量や人通りは多い反面、おだやかな下町の薫りも漂う、不思議な魅力を持った方南町。今後も、そんな「方南町らしさ」を大切に、まずは既存の3つのイベントをしっかり継続しながら、少しずつ新しいことができれば、と新井さん。買い物に來る高齢者には優しく話しかけて見守り、駅前の放置自転車は定期的に整理するなど、派手さはなくとも、日々の自然な営みで住みよいまちが作られているのでしょう。

妙法寺門前通り商店会

堀ノ内の厄除け祖師として有名な妙法寺の周辺にある、妙法寺門前通り商店会。昨年から会長になられた山田博さんにお話を伺いました。

今年7月、商店会初の試みとして、妙法寺境内にて「夏のふれあい祭り」が行われました。内容は、そば打ち体験、抹茶体験、歌謡ショー、子供チアリーディング、ゲーム、模擬店など、老若男女楽しめる企画が盛りだくさん。結果、2000人も人が集まり、初回にして大盛況、大成功を収めました。1年前から準備を始めたものの、皆どこか消極的で、なかなか話し合いは進まなかったとか。直前の1カ月でようやく皆のボルテージは上がり、一気に準備が整いはじめます。



妙法寺境内にて行われた「夏のふれあい祭り」の様子。

家業で忙しく、商店会の活動まで手が回らないことが多かった男性陣の代わりに、奥様が女性陣が率先して動くことで、商店会の運営がスムーズになったと話すのは、山田会長の奥様で、商店会では企画を担当する重子さん。

店主の高齢化は進み、跡継ぎ不足も深刻ですが、商店会のムードはよくなりつつあるのだそう。営利を求めるよりもまず、堀ノ内で商売をやってきて良かった、住んでいて良かった、そう思える商店会を目指します。

妙法寺では通年、多くの催しが行われます。お参りかたがた、新たな再生を始めた商店街をのぞいてみてはいかがでしょうか。

杉並区的笑顔



株式会社オオタカ
代表取締役会長 大高一夫 氏

古き良き杉並

「大宮八幡の参道とその下の善福寺川の桜の辺りには、昔の面影が残っている」と大高さん。現在の町並みを透かして目に映っているのは、古き良き杉並。便利さ、快適さでは「今」に敵いませんが、味があったと懐かしみます。水泳やザリガニ釣りを楽しんだ善福寺川、肝試しに行かされた妙法寺の墓地、手製の下駄スケートで滑った冬の水田と、話は尽きません。時に、痛い思いをすることがあっても、その中から自分の能力の限界を体得することができたそう。自然の中で伸び伸びと育ったご自身と比べて、管理された今の子供たちの日常を心配する大高さんの眼差しは、腕白少年のようでした。

向上心を忘れない

閑静な住宅地の一角に古紙リサイクル工場が存在する光景は少し意外に思えますが、もともと何もなくた地に工場を建設し、その後に住宅地化が進んだと聞いて納得。こうした環境の中、地域住民の理解を得ることは重要。資源ゴミの回収を直接受け入れたり、工場の周りを防音壁で囲むなど騒音対策にも気を配ります。杉並は区内に缶、瓶などのあらゆる処理工場が残っており、ゴミ処理が自力でできる点は住み良いまちである理由のひとつと梶野さん。趣味は温泉めぐりだそうです。お湯につかりながらも、することは常に「考えること」。思考を整理し、反省する場なのだから。息抜きの合間も向上心を忘れない姿勢、恐れ入りました！



株式会社梶谷商事
代表取締役 梶野隆史 氏

PICK UP ピックアップ in 杉並 SUGINAMI

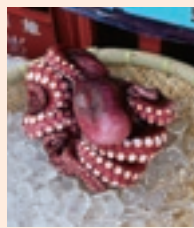
株式会社しんせん

代表取締役 小笠原健悦（塗装業）
堀ノ内3-3-32 シャートートロピカルⅡ 1階
フリーダイヤル：0120-50-4093 FAX：3311-2180



断熱効果を測定する器具。
ガイナ塗布面の温度は59℃。
非塗布面は80℃近い。

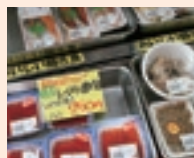
社名の「しんせん」は新撰組から。仲間と3人で独立したので、そのまま新撰組になってしまったとか。地元中心に営業展開、地域とのつながりを大切にしています。「しんせん」の売りは、断熱塗料の「ガイナ」。屋根や外壁に最適です。ガイナはロケット開発で培われた、最先端の断熱技術を利用。ガイナ塗布の素材は、非塗布の素材と比べ10～20度も表面温度に差が出ます。夏は涼しく、冬は暖かい。環境にも優しい塗料です。



三幸酒店

代表 林 立美（酒・食品）
方南2-12-27 電話・FAX：3312-0803

酒屋とスーパーが一緒になった業態の三幸酒店。肉屋も魚屋も近くに無いので、三幸酒店で取り扱っています。手作りのお総菜や焼き魚などは、人気商品のひとつ。質の良い食材を仕入れることに気を配り、配達にも力を入れています。「商売は決して楽では無いけれど、このままでは小売店は無くなってしまいうから」との言葉がとても印象的でした。ノスタルジックで温かい雰囲気の商店街は、三幸酒店のようなお店が支えているのですね。



有限会社フロッグシステム

代表取締役 菊池雅樹（広告デザイン）
成田東4-1-56
電話：6304-9777
www.frogssystem.co.jp

ビジネスを「カエル」デザイン、フロッグシステムです。カタログ、チラシ、ウェブ等、わかりやすく、「伝わる」表現で、売上げ向上をお手伝いします。特にオリジナルのマンガやイラストを使ったコミュニケーションツールの作成が得意です。チラシとウェブ等、マルチに展開も可能。ウェブサイトからぜひ事例をご覧ください！

郷土博物館



上）展示されている民家。
右）民家の内部。

1989年5月に開館。常設展示では、杉並の地に人が住み始めてから、近現代にいたるまでの郷土資料が揃っています。

杉並区立郷土博物館は、杉並区に人々が住み始めてから今日に至るまで、伝えられてきた生活や文化に関する資料集め、調査・研究を行い、展示をしています。郷土博物館という遺跡や土器等の出土品が主というイメージですが、杉並区の事であれば……ということ、幅広い展示をしています。常設展示は一般的な考古学から近現代までの展示をしています。特別展示はユニークで、例えば、電車の展示や高

円寺フォーク伝説、現在は太田黒元雄氏の足跡展を開催しています。特別展示でこうした近現代の展示が多いのは、杉並らしき、杉並区の文化的特徴が、住宅地として発展した近現代にあると考えているためだそうです。

入口にある長屋門は「旧井口家住宅長屋門」といい、もと宮前5丁目、大宮前新田という村の名主であった井口家の表門で、1974年に杉並区へ寄贈されました。

敷地内にある古民家は、もとは下井草にあった篠崎家の住まいで、1973年に杉並区に寄贈されました。この古民家は展示するだけでなく、四季折々の年中行事が催され、博物館教室という企画では、かまどを使つてうどんをゆでたり、お団子を作ったり、年末にはもちつきが行われるそうです。また、毎週土日と祝日の午後は囲炉裏に火が入り、お茶をふるまっています。ただけです。囲炉裏に火を入れるのは、立ち上る煙で、屋根の茅葺き部分の虫除けをする意味もあるのだそうです。

敷地内はとても静かで、鳥のさえずりも聞こえます。東京とは思えない癒しの空間に足を運んでみてはいかがでしょうか。

松ノ木遺跡と竪穴住居址

松ノ木遺跡は、明治時代に見えられた旧石器時代～古墳時代にかけての区内最大規模の複合遺跡です。

展示されているのは、復原住居で、1950年に「方南峰遺跡」で発見され調査された古墳時代後期の住居址をモデルとしています。内部には当時行われていたと考えられる生活の様子が展示されており、音声による解説も聞くことができます。

隣接している竪穴住居址は、1954年に発掘された古墳時代の住居址が、そのまま保存・展示されています。



上）「松ノ木遺跡」復原住居。
左）復原住居の内部。当時の生活が再現されている。

